



薬育の実施



活動内容

「薬育」とは、薬学生が地域住民に対して、医薬品の適正使用や薬物乱用防止、フレイル予防など、健康な身体づくりを目的として行う教育活動である。薬学生が実際に地域で薬育を実施することにより、薬剤師に求められる保健知識の普及・指導や啓発活動の実践力を養うとともに、地域貢献を図ることを目的としている。

活動実績・成果

【2024年度実績】

小・中学校や高校、高齢者施設など、延べ1149人を対象に薬育を実施した。薬学生にとって薬育は、「伝える力」「保健指導の実践力」「多世代とのコミュニケーション力」を養う貴重な経験である。中学校の生徒からは、「薬物の危険性への理解」「断る勇気」「大学生による説明のわかりやすさ」などの感想が寄せられ、正しい知識の定着と行動変容の兆しが見られた。薬育は、薬学生にとっての実践的な学びであると同時に、地域住民への健康支援としても重要な役割を果たしていると考えられる。

事業連携先

東京都中野区、港区、国分寺市内の小・中学校や高校、高齢者施設など

関連リンク: <https://www.thu.ac.jp/news/2023/240326-01>

